

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2006.3.26 No.436 (毎月2回発行)



市長っ、そこまでやるの?

温泉建設のひずみで、市民いじめぞくぞく……

あきる野市は、赤字経営が心配される温泉建設に二十四億九千万円も投入しながら、市民への施策を次々と削っています。温泉建設に大金を使ったひずみがあらわれた市政の実態に、市民のなかから「なんとかならないか」の声が上がっています。

議会に相談なく交通・災害・共済の掛け金
いつの間にか公費負担分をカット

75才以上の市民、生活保護者の 掛け金は公費負担してきたのに

東京都の三十九の市町村が共同で実施する交通災害共済「ちよこつと共済」は、自転車の事故などの小さい事故までカバーする交通災害共済として、あきる野市も市民に勧めてきました。見舞金の給付を通じて地域に助け合いの輪をひろげようとする制度です。

あきる野市では今まで、七十五歳以上の方と生活保護者については公費負担で加入してきましたが「十八年度からは廃止」と、申込書に冷たく書いてあるだけです。何で廃止するのか理由も書いてなく議会にも報告もありません。市の多額の予算からすれば年額わずか三百数十万円で済むのに。

市民が利用する図書館の 印刷機まで撤去

五日市図書館、増戸図書館には印刷機があり、今まで原紙だけで市民が必ず書類を印刷出来ました。ところが最近「四月からリースの期限が切れませんので使用出来ません」と印刷を、どうするか悩んでいます。

五日市保健センターの 育児相談も廃止

五日市保健センターはいままで、月一回保健師らがセンターに出向き乳幼児の身長・体重測定や日常の育児の悩み

相談に対応してきました。あきる野市は「予算削減のため」を理由として今月で廃止を通告。子育て中の母親達から「育

児相談は増やしてもらいたいくらいなのに、今後はこの地区で小さな子どもを育てる人は大変だと不安の声が上がっています。

市民の避難所の 耐震診断予定も削る

最近地震も多くいま全国的に、震災時の問題が関心事になっています。あきる野市でも学校体育館が震災時の市民の避難所になっています。ところがほとんど耐震工事はゼロ。

が耐震化されていません。昨年までの計画では、今年六校の体育館が耐震診断をする予定でした。これまたたつたの二校に減らされています。

学童保育で「要望が多いのになぜ、 予算を付けないのか」と質問が…

いま市民の中で、学童保育を希望する方が増えていきます。少なくない地域で、入所が困難になっています。説明会に集まった市民から「こんなに要望が多いのに市はなぜ予算を付けないのか」と質問が出たが、答えは「ありませんでした。これも温泉建設にお金を使うからではないでしょうか。」



今でこそたくさんの子育て仲間がいるわたしですが、2カ月のむすこを連れて野辺に越してきた7年前は、近くに知り合いもなし、ケータイ・パソコンもなし。こどもの世話をパートナーの帰りを待つ毎日。ベビーカーを押して、うろうろ話し相手を探していました。むすこが一歳をすぎ、ようやく公園に行くようになっていいともだちに恵まれ、行動範囲も広がって今に至りますが、ひとりぼっちでこどもと向き合っていた日々は切ない思い出です。

当時のわたしが参加してきていたらという気持で、ピッチは出来ています。みんなにとっての楽しい会でありたいです。

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

二月の日野市議選に地区から派遣され、後半の数日間には殆ど眠らずに通った。結果五人全員が上位から中位で当選を勝ち取った。▼選挙オクルグは初体験で戸惑いながらの活動だったが多くの感動を経験した一カ月半でした。▼オクルグの一人は自ら車を持ち込み手作りで二台の宣伝カーを仕立て、また全党員への手紙を毎日書き、届け全員の力を出し切るために奔走したオクルグ。▼後援会員が初めてのポスター張り。14枚を二時間で開拓。▼80才の男性党員が早朝駅前でピラを撒く姿。▼95才の女性党員が応援隊を引き連れて候補者と共に街頭で訴え、同じような街角弁士がその日十人近くも。▼後援会員で自治会幹部の方が最終日に意を決して自治会員に支持を訴え、百近くもの支持を獲得した。など、素晴らしい人々に支えられた党の姿に深く感動して帰って来ました。(起)

野良望

一九七〇年代から五日市地域に根づき、日本共産党の議員を先頭に数々の住民要求を実現してきた日本共産党五日市支部は、住民のくらしと要求を無視したいまの田中市政に対して、住民とともに考えてつくる「五日市のまちづくり計画」を検討、その素案がまとまりました。

私達の住む町に誇りを、この町のよさを語り合おう

1 五日市のもつ五つの特徴

①市の町として江戸時代から栄えてきた歴史と文化の町

②山、溪谷、神社、寺院など、景観・歴史・観光の町

③五日市憲法が起草された草の根民主主義発祥の地

④横沢入りなど里山の残る自然豊かな町

⑤三億年前からの化石が産出する自然史の宝庫

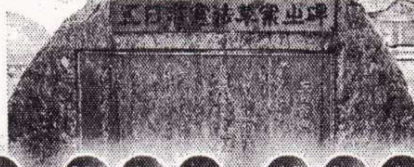
この町がもつ歴史と景観、草の根の民主主義の伝統に誇りをもち、その特徴を大切に、この町のごが好き、この町のごが良いと大いに語り合って、まちづくりをすすめます。

住民要求実現の先頭にたち、自然保護、まちづくりでも奮闘

2 五日市支部と市町議会議員の実績

※①～⑥省略 自然保護と町づくり部分を抜粋
⑦産廃処分計画をストップさせ、坂沢の自然と金剛の滝をまもる

五日市中学敷地内にある五日市憲法の碑



住みたい 観たい 訪ねたい 町に

日本共産党五日市支部 提唱 五日市の町づくりを 住民と共に考える

支部の政策の骨子

1. 五日市のもつ五つの特徴
2. 党支部と市町議会議員の実績
3. 住民と進める政策と要求
4. 支部建設の前進をめざして (省略)

- ⑧横沢入りの保全を一貫して主張し住民とともに運動。開発断念させ、保護への道をひらく
- ⑨化石の宝庫を生かした自然史博物館建設を提唱し、都議会でも議論に

この町の自然と景観をまもるため、いつも住民と一緒に奮闘。また、先駆的にその特徴を生かした具体的提案をしてきました。

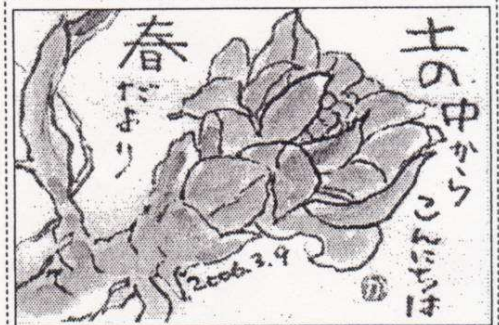
住民とともにすすめるまちづくりと 住民要求の実現をめざして

3 五日市支部の政策と要求

- ①のバスは住民と観光を考えた路線拡大と増便を
- ②横沢入りの里山保全を広範な住民と協力して
- ③むだな温泉建設反対
- ④温泉建設より避難所の耐震化を
- ⑤高尾焼却炉の安全、ゴミ収集の改善
- ⑥まちおこし、山、川、生活道路の整備
- ⑦花粉症対策としての杉の見直し
- ⑧自然史博物館の建設
- ⑨五日市憲法記念館建設
- ⑩憲法9条をまもる運動を広げよう
- ⑪魅力ある学童保育の増設と充実を
- ⑫図書館の充実と蔵書の拡充を



当面右の政策と要求をかかげ、住民のみなさんと意見をたたかわせながら充実・発展させ、「この町に住みたい、観たい、訪ねたい」と思われるような五日市にするため、みなさんとともに頑張ってください。



絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住

歴史探訪

第16回

二宮神社 (3)



八世紀頃から発達してきた集落は、その後、土着勢力を持った一族が十二世紀頃、神社由来に併せて二宮の氏を名乗り地名も二宮となったと云われています。(終)

草花・木崎秀治

一般的に河岸段丘は水資源に乏しいと云われる中で、二宮周辺は湧水が多いという特性で早く「縄文期」から集落があつたとされています。神社下の「お池」を始め前田小西側・東秋留小付近など、数多く湧水があり水田の灌漑用水に広く活用されてきました。その中でも神社南東に広がる前田耕地は代表的なものです。稲作生産石高が秋留台地より二宮・小川地域が飛び抜けて多かつたと云われています。

東西に長いあきる野市を航空写真で見ると、二宮は東端にあつて多摩川と秋川が合流する釣型の内側に位置します。地形は二宮神社を頂点として南東へ傾斜し、なだらかに低くなります。数万年の地殻変動によって河岸段丘として発達してきたわけですが、傾斜は小川方面・野辺方面・牛沼方面へと階段状に低く進みます。

☆周辺の地形

人が生活してゆく上で何より大切なのが水です。特に古代集落の形成には水なくしてできません。外国の古代国家が地殻と気候の変動で砂漠化し衰滅していった例はいくつもあります。

俳句

戦車橋といふ戦さ跡春の雪 (勝代)

夕日受け赤きどうだん躑躅かな (静子)

日脚伸ぶ扇に跳ねるらレドセル (米里)

水底のひかりを食みて寒の鯉 (芳子)

旗々の雲の流れや梅開き (かほる)

くるくると凧回りつづ子の駆けぬ (志佐)

騰の夜影踏み帰る家路かな (照代)

かたくりの花のまたの名太郎吹郎 (やす子)

四温くる巻る画集に海の声 (香佐)